



# 平成26年度当初予算

**総額 285億7,713万7千円**  
**一般会計 159億3,000万円**

桜川市の平成26年度当初予算が、平成26年第1回桜川市議会定例会において可決・成立いたしました。市財政の中心となる一般会計予算額は159億3,000万円、国民健康保険特別会計など6つの特別会計と水道事業会計を含めた予算総額では、285億7,713万7千円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約0.4%の減となります。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせいたします。

## ●平成26年度当初予算一覧

区分	平成26年度予算	前年度の当初予算との増減率(%)
一般会計	159億3,000万円	△1.5%
特別会計	国民健康保険	58億111万6千円 △1.0%
	農業集落排水事業	4億3,799万4千円 0%
	公共下水道事業	7億1,554万3千円 △11.3%
	介護保険	39億3,234万6千円 4.6%
	介護サービス事業	996万3千円 24.0%
後期高齢者医療	3億5,962万7千円 1.7%	
水道事業会計	13億9,054万8千円 8.0%	
合計	285億7,713万7千円	△0.4%

### 歳入

市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約36.2%を占めています。続いて多いのが市民税・固定資産税・軽自動車税などの市税。次の国庫支出金は、国からの補助金。そして、市債は、事業を実施するための国などからの借入金。以下、県支出金、地方消費税交付金、諸収入などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

### 一般会計の歳入の内訳

- ①地方交付税 57億6,000万円 (36.2%)  
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 44億5,116万3千円 (27.9%)  
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③国庫支出金 17億5,175万2千円 (11.0%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ④市債 11億1,094万円 (7.0%)  
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ⑤県支出金 9億3,622万2千円 (5.9%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑥地方消費税交付金 4億694万7千円 (2.6%)  
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑦諸収入 3億5,326万9千円 (2.2%)  
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑧繰越金 3億円 (1.9%)
- ⑨地方譲与税 2億7,607万5千円 (1.7%)  
市道に対して揮発油税・自動車重量税の一部を譲与される収入
- ⑩使用料・手数料 1億5,409万7千円 (1.0%)
- ⑪その他 4億2,953万5千円 (2.6%)

### 市民1人(1世帯)当たりはこんな金額

市の予算を市民の皆様が身近に感じていただくため、平成26年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(1世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

- 市民の皆様が負担する税を1人(1世帯)当たり換算すると **9万7,935円 (29万2,762円)**
- 市政に使われるお金を1人(1世帯)当たり換算すると **35万495円 (104万7,750円)**

### 歳出

市民の皆様のために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障がい者・児童などの福祉の充実が図られます。続いて多いのが健康促進、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費。次に多い教育費は、市立学校や生涯学習振興などに使われます。以下、戸籍や広報、庁舎管理などの総務費、市の借入金の返済などの公債費、土木費、消防費、農林水産業費などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

### 一般会計の歳出の内訳

- ①民生費 53億4,776万6千円 (33.6%)  
社会福祉サービス、生活保護など
- ②衛生費 19億1,864万2千円 (12.0%)  
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ③教育費 18億4,657万円 (11.6%)  
市立学校、生涯学習振興など
- ④総務費 16億6,923万7千円 (10.5%)  
戸籍や広報、庁舎管理など
- ⑤公債費 15億1,829万6千円 (9.5%)  
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 12億8,697万円 (8.1%)  
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦消防費 9億9,716万7千円 (6.3%)  
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑧農林水産業費 8億6,345万9千円 (5.4%)  
農林水産業の振興、基盤整備など
- ⑨その他 4億8,189万3千円 (3.0%)



## 平成26年度一般会計主要事業の予算

### ハード事業

- (建物の建設・修繕、道路整備など工事をすすめる事業)
- 衛生費 ▶再生可能エネルギー導入促進事業…3,100万円
  - 農林水産業費 ▶霞ヶ浦用水事業…1億6,536万5千円、林道整備事業…2,913万1千円
  - 土木費 ▶道路新設改良事業…3億1,785万5千円、道路維持事業…8,175万6千円、公園事業…4,407万5千円
  - 消防費 ▶防災無線事業…2億7,767万6千円

### ソフト事業

- (ハード事業以外の事業)
- 総務費 ▶公共交通事業…3,344万円
  - 民生費 ▶障害者福祉事業…7億3,409万8千円、児童手当事業…6億8,930万円、老人医療給付事業…5億9,505万2千円、介護保険事業…5億8,662万9千円、国民健康保険事業…5億3,750万9千円、生活保護支給事業…4億5,611万5千円、医療福祉事業…3億3,209万6千円、臨時福祉給付金給付事業…8,923万7千円、子育て世帯臨時特例給付金給付事業…5,208万5千円、放課後児童対策事業…4,205万1千円
  - 衛生費 ▶県西総合病院組合負担金…3億3,228万9千円、保健事業…5,994万1千円、ごみ減量化対策事業…4,420万4千円、環境衛生事業…1,468万3千円
  - 農林水産業費 ▶農地・水対策事業…2,539万1千円
  - 商工費 ▶商工振興事業…4,936万4千円、観光事業…4,336万9千円、地域振興事業…1,096万6千円
  - 教育費 ▶伝統的建造物群保存地区推進事業…2億3,355万4千円、史跡等保存整備事業…1,740万9千円